

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

平成 23 年度 第 10 回総会

平成 23 年 6 月 11 日（土）

（審議事項）

議案 1（平成 22 年度事業報告および決算報告）

事業報告書、収支計算書は別紙 1 のとおり。

議案 2（主たる事業所の移転および該当する定款条文の変更）

事務所移転先および定款変更は別紙 2 のとおり。

（提案事項）

提案 1（平成 23 年度事業計画及び収支予算）

事業計画、収支予算は別紙 3 のとおり。

以 上

別紙 1 - 1 (平成 22 年度事業報告書)

1. まちづくり事業

1) 地区計画等のまちづくりの構想や計画の策定

(1) 武蔵野市都市マスタープラン改定への参画

- 事業内容: 都市マスタープラン改定地区別意見交換会報告書の作成及びその後のフォローアップを行う(担当: 篠原)。
- ➔ 事業成果:
 - ①平成 22 年 4 月 23 日(金)及び 24 日(土)に実施した地区別意見交換会による検討結果を踏まえ、2010 年 5 月付けで武蔵野市に報告書を提出し、都市計画マスタープラン改定に際して、この結果を十分反映するように要望。報告書は、意見交換会に協力いただいたコミュニティ協議会他に配布した他、市長にも直接提出。
 - ②平成 22 年 10 月に、改定案が市長に答申され、11 月には公告・縦覧・意見募集(4 週間)が行われた。これに対応し、平成 22 年 12 月 1 日(水)「都市マスタープラン改定を考える市民のつどい」(武蔵野商工会館市民会議室)を実施し、改定案に対する市の説明及び意見交換を行う。この結果と当会議の意見を含めて、平成 22 年 12 月 12 日(日)(13 日締め切り)付けで、市に対し、「武蔵野市都市計画マスタープラン改定原案に関する意見」を提出。
 - ③平成 23 年 1 月に 2 回目の公告・縦覧・意見募集(2 週間)が行われ、1 月 31 日に締め切られた。当会議よりは、特に追加意見は出さなかったが、(手続きについて)以下の見解を市に送付。
 - ・今回の改定案の策定プロセスは、コミセンや町会参加によるコミュニティ単位のまちづくり課題の検討を促した先駆的なものであり、この成果と市民からの改定案を含めて、都市計画審議会において報告いただきたいこと。
 - ・来年度以降のまちづくり会議の事業として、都市マスタープランの実現状況をコミュニティとともにモニターし評価するプログラムを実施すること。
 - ・これは都市計画マスタープラン改定案の中には、計画の実現に向けたモニタリングについては明確な方針や方策が掲げられなかったためであること。
 - ④平成 23 年 4 月 1 日、武蔵野都市計画マスタープラン公表。まだ多くの点で課題は残ったが、先駆的な試みと当初の予想以上に随所に改定が行われたことは評価したい。市民及びコミュニティによる連携の成果であった。

2) まちの利便、景観、環境、安全等の保全や向上に資する実践活動

(2) コミュニティ支援事業

- 事業内容: 境 1 及び 3 丁目、境南町 1 丁目コミュニティ拠点づくり活動への支援(担当: 清本)。
- ➔ 事業成果:
 - ①集会施設が欲しいという住民要望のきっかけともなった本村公園遊歩道わきの空地は、近隣住民が公園として管理運営する活動が続き、地域住民のコミュニティづくりの一翼を担っている。グループ名「本村公園フォーシーズンズ」会員 18 名。
 - ②集会施設づくりの方は、「みぢかなまちづくり・武蔵境」というグループが生まれ、1,655 名の署名を集めた陳情が本会議でも採択された(2007 年 12 月 19 日)。しかし、コミセンか単なる集会施設かという点で住民の意見に不一致があったため、

第6期コミュニティ市民委員会(2008年6月～2009年12月)では、建設が認められなかった。現在このグループの一部の方々が、ごく身近な範囲で個人の家を開放し定期的にお茶のみ会を開いているが、グループ全体としての活動ではない。市民会館のコミセン転用等の話もあり、今後、どのような形になるのかが注目される。

- 事業内容：八幡町コミュニティセンター新設に伴う検討支援(担当：山田)。

→ 事業成果：

- ①2010年5月26日「八幡町コミセン建設準備会」参加。市の市民協働推進課より経緯と今後の予定の説明。5月7日候補地(千川小学校プール跡地)の決定について市議会へ行政報告。5月13日敷地周辺でチラシ配布。2010年6月29日建て替え内容の説明(市より)。床面積500㎡、2階建て7月に設計者決定、出席者より要望意見出し。
- ②7月12日建て替え内容意見交換。
- ③8月22日にコミセン朝市の時に近隣住民へチラシを配布し参加促す。設計者決定は9月。2010年9月22日市役所施設課出席による設計者である佐藤尚美氏(吉祥寺シアター設計)の紹介あり。今後の予定、ワークショップの開催(4・5回程度)、年内基本設計、実施設計6月。
- ④ワークショップは10月17日(千川小学校、塩澤が出席)、11月5日、12月18日に開催。

(3)「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への副司会者の派遣

- 事業内容：話し合いの会メンバーから推薦により、東京都からの要請を受け、外環の地上部街路に関する話し合いの会の副司会者を務める(担当：村井、森、南、篠原)。

→ 事業成果：

- ①以下のように、話し合いの会に、村井副代表を派遣し業務を実施。話し合いの会メンバーから会の打ち切り動議等が出ていることから、今後も継続するかは見えていないが、協力要請がある限り支援を続ける方針。なお、都は第7回になって初めて課題説明に入れたという状況にある。
- ②業務実施日：
2010年4月26日 第4回
2010年7月28日 第5回
2010年10月14日 第6回
2011年1月28日 第7回

2. まちづくりに関する調査研究事業

1) まちの現状や計画、まちづくり制度に関する情報収集及び研究

(4) 景観・観光をテーマにしたまちづくりの検討－地区カルテ部会

- 事業内容：景観・観光をテーマにしたまちづくりの検討(担当：南、村井)

→ 事業成果：

- ①2010年12月4日、「鎌倉市における景観整備の取り組みと課題」と題して、研修会を実施(7時45分出発、18時帰着)。ひと・まち・鎌倉ネットワーク(代表：熊倉氏及び奥山氏)の協力を得て、資料を提供いただくとともに、由比ヶ浜中央地区及び

浜通商店街の景観づくりに関する行政方針と NPO との協働についてご説明いただき、当会議と意見交換・議論を実施。

②タウンウォッチング実施(約 3 時間)。福祉センター→笹目路地→塔の辻→由比ヶ浜中央商店街→由比ヶ浜通り商店街→下馬→段葛→大佛邸路地→八幡宮→(境内の喫茶室で休憩)→川喜多記念館→小町通り商店街→鎌倉駅。

③武蔵野の景観形成につき、今後も協力をお願い。ネットワークづくりも行った。

(5) 商業地活性化部会・UD 部会合同

- 事業内容: イースト吉祥寺デザインガイドラインのフォローアップ(担当: 山田、河田)。
- ➔ 事業成果: 事実上の投資事業用のマンション建設につき、河田副代表が説明会にて建設の是非を問う。サンウッドのマンションについては、篠原・森副代表にて同社幹部と面談。同社の建設計画に変更なし。平成 22 年 10 月から 12 月に 3 回程度の集会やイベントを実施したが、東部地区計画協議会の活動は東部地区における実際の建設行為を背景に、まとまった動きにはなっていない。
- 事業内容: 中道通り商店街「街並みガイドライン」づくりの検討支援(担当: 山田、河田、塩澤)
- ➔ 事業成果:
 - ①平成 22 年 6 月 10 日(木) 吉祥寺西三条通り地区計画推進協議会にオブザーバー参加(塩澤)。

2) まちづくりへの市民参画に関する情報収集及び研究

(6) まちづくり支援活動勉強会の開催

- 事業内容: コミュニティ協議会等昨年度事業に協力いただいた団体向けに、地区別意見交換会事業の報告会を開始実施する。まちづくり支援活動勉強会の開催、昨年度事業の成果を踏まえ、コミュニティ研究連絡会、コミュニティ協議会に協力・参加してもらい、地域住民と連携したまちづくり活動支援のあり方の勉強会を行う(担当: 篠原)。
- ➔ 事業成果:
 - ①以下のように各コミュニティ協議会に対し、運営委員会や役員会等の場で事業報告を行った上、勉強会開催を通知し参加をお願いした(いずれも平成 22 年)。これには、都市マスタープラン改訂地区別意見交換会のファシリテーターが地区担当者となり、該当する地区におけるコミュニティ協議会への報告を担った。
 - 9 月 22 日(水) 八幡町コミュニティ協議会
 - 10 月 4 日(月) 緑町コミュニティ協議会
 - 10 月 6 日(水) 吉祥寺北コミュニティ協議会
 - 10 月 8 日(金) 吉祥寺西コミュニティ協議会
 - 10 月 12 日(火) 西部コミュニティ協議会
 - 10 月 13 日(水) 吉祥寺東コミュニティ協議会
 - 10 月 14 日(木) 吉祥寺南町コミュニティ協議会
 - 10 月 18 日(月) 御殿山コミュニティ協議会
 - 10 月 19 日(火) 本宿コミュニティ協議会
 - 10 月 24 日(日) 西久保コミュニティ協議会
 - 11 月 5 日(金) 桜堤コミュニティ協議会
 - 11 月 10 日(水) けやきコミュニティ協議会

- 11月19日(金) 境南コミュニティ協議会
- 11月20日(土) 関前コミュニティ協議会
- 11月22日(月) 八幡町コミュニティ協議会
- 11月27日(土) 中央コミュニティ協議会

②平成22年11月23日、理事長名にて、勉強会開催通知を送付。平成23年1月6日のコミュニティ研究連絡会(関前コミュニティセンター)にて勉強会開催通知を配布。1月20日(木)、かたらいの道市民スペースにて、「コミュニティ協議会との連携による支援の仕組み勉強会」を実施。その後、3月14日(月)に報告書を各協議会に送付し、今後の継続的なまちづくりへの参加と支援の仕組みの検討を依頼。これは、塩澤吉祥寺西地区担当を事業担当者として実施した。

3. まちづくりに関する教育事業

1) まちづくりに関する講習会、シンポジウム等の開催

(7) 都市マスタープラン改定素案・意見交換会

- 事業内容： 都市マスタープラン改定素案意見交換会の開催。都市マスタープラン改定素案の縦覧・パブリックコメントにあわせて、市民を対象とした意見交換会を開催する(担当:森、篠原)。
- ➔ 事業成果：
 - ①平成22年12月1日「都市マス市民の集い」を開催。都市マスタープラン改定素案が公表されたことを受けて、その素案の考え方、内容について市から説明を受けるとともに、市民間で意見交換を行った(商工会館・市民会議室)。
 - ②同集いのために新進気鋭のデザイナー竹松勇二氏、吉井みい氏ご夫妻にポスター・チラシ作成を依頼(担当:石川)。
 - ③冒頭の1.まちづくり事業、1)地区計画等のまちづくりの構想や計画の策定、(1)武蔵野市都市マスタープラン改定への参画を参照。

2) まちづくりに関する講師派遣

(8) まちづくり出前講座の実施

- 事業内容： 中央北地区意見交換会のフォローアップ(担当:村井)。
- ➔ 事業成果：
 - ①クリーンセンター建て替え及び空き家対策につき、けやきコミセンに対し情報提供及び協力(村井、塩澤)。
- 事業内容： 中央南地区意見交換会のフォローアップ(ガイドラインづくりへの対応)(担当:高田)
- ➔ 事業成果：
 - ①三鷹駅北口のパチンコ屋建設に端を発したコミュニティ活動が昇華し、三鷹駅北口地区まちづくり準備会が発足。高田副代表及び事務局塩澤が主体的に会合に加わり、まちづくりウォッチングや東急横用地の調査、建設行為を行った場合のボリューム検討(模型作成)、三鷹北口写真展などを実施。
 - ②以下のように事業実施。
 - (平成22年)
 - 6月2日 定例会議
 - 6月24日 定例会議

6月25日	三鷹議連・勉強会
7月5日	定例会議
7月28日	定例会議
8月3日	定例会議
8月17日	定例会議
8月20日	三鷹議連との意見交換会
9月3日	定例会議
9月17日	定例会議
9月26日	「設立総会」
11月5日～7日	三鷹北口写真展～昔と今、のこしたいところ～ かたらいの道市民スペース
11月15日	第1回勉強会
11月24日	第2回勉強会
11月25日	役員会
12月3日	役員会
12月6日	三鷹駅北口広場整備事業説明会
12月13日	都市マス意見書づくり
12月22日	第3回勉強会
(平成23年)	
1月9日	タウンウォッチング
1月11日	三鷹駅北口広場整備事業説明会
1月24日	役員会
1月26日	第4回勉強会
2月3日	三鷹駅北口広場整備工事説明会
2月14日	役員会
2月23日	第5回勉強会
3月23日	第6回勉強会
3月28日	役員会
4月7日	三鷹北口商店会田辺会長と意見交換
4月27日	第7回勉強会
5月18日	役員会

3)まちづくりに関する研修

(9)日帰りバス研修

- 事業内容： バス研修を計画・実施(担当:南)。
- ➔ 事業成果： 平成23年3月6日(日)に「南房総の地域おこしの現場を見てみよう」をテーマに日帰りバス研修を実施。館山市沖ノ島のビーチコーミングと自然観察(協力:NPO たてやま・海辺の鑑定団)、相浜漁協直売所、房総フラワーライン、ちくら花摘み園、道の駅とみうら(榎とみうら)などを訪ね、一次産品を活用した官民による地域活性化策の展開状況を視察し、全員事故もなく無事に帰着した(7時20分発、18時30分帰着)。

4. まちづくりに関する普及啓発事業

1) 機関紙、研究報告書、啓発書の発行

(10) 機関誌「まち」の継続発行

- 事業内容： 機関誌「まち」の発行(担当:南)。
- ➔ 事業成果： 機関誌 No. 39、40、41 を発行し、ウォッチングなどの活動内容を報告。

(11) 報告書の発行

- 事業内容： 各種報告書の発行。
- ➔ 事業成果：
 - ①都市マスタープラン改定地区別意見交換会報告書
 - ②コミュニティ協議会との連携による支援の仕組み勉強会報告書

2) ホームページの開設・運営

(12) ホームページのリニューアル

- 事業内容： 更新、維持、管理を実施。更新ができなくなっているホームページをリニューアルする(担当: 山田、石川)。
- ➔ 事業成果： 一部につき、ホームページの更新が可能となり、更新を実施。

5. まちづくり又はその研究や普及啓発を目的とする団体との情報交換及びネットワークの構築事業

1) 機関紙、研究報告書、啓発書の発行

(13) 武蔵野NPO・市民活動ネットワークへの参画

- 事業内容： 団体登録を継続。武蔵野 NPO・ネットに役員を派遣し先方事業推進を支援する(担当: 清本、篠原)。
- ➔ 事業成果： 清本顧問は武蔵野 NPO ネットの副理事長に就任し、理事会出席、ニュースの発行を含め、幅広く業務を実施。篠原は武蔵野 NPO ネットの理事として一部理事会出席、国税・都税・市税の税務申告業務を実施。

(14) 暮らしフェスタむさしの 2010 への参加

- 事業内容： 消費者生活団体登録を継続。
- ➔ 事業成果： 「第32回武蔵野市消費生活展—暮らしフェスタむさしの」実施にあたり、実施8団体の一つとして『消費者のためのまちづくり—イースト吉祥寺ガイドライン—』と題して展示を行った。(担当:井部)

平成 22 年 6 月 16 日	第1回実行委員会
9 月 27 日	第3回実行委員会
10 月 14 日～16 日	消費生活展実施(かたらいの道)
2 月 1 日～8 日	二次展示(市役所ロビー)
2 月 9 日～16 日	同上(緑町コミセン)

- ➔ 事業成果： 暮らしフェスタむさしのの実施のため、以下の業務を実施(担当:井部)

平成 22 年 6 月 16 日	第1回実行委員会
9 月 27 日	第3回実行委員会
10 月 14 日～16 日	消費生活展実施(かたらいの道)
2 月 1 日～8 日	2 次展示(市役所ロビー)
2 月 9 日	同上(緑町コミセン)
2 月 17 日～23 日	同上(市民会館)

3月8日～15日

同上(吉祥寺南町コミセン)

(15)男女共同参画のまちづくりの検討

- 事業内容: 男女共同参画推進団体登録の継続(担当:中川)。
- ➔ 事業成果: 中川会計担当役員は、むさしのヒューマンネットワークセンターの運営協議会会長。

6. その他目的を達成するために必要な事業

- 事業内容: 事務運営専用の PC を設置し、運営データの保管運用をおこなう(担当:森)。
- ➔ 事業成果: 事務運営専用の PC 及び関連ソフトウェアを購入し、HP 運営の体制を整えた。

参考:活動経過

◎総会

平成 22 年 6 月 12 日(土)実施。

◎事業

上記記載の通り。

◎委託事業「武蔵野市都市マスタープラン改定地区別意見交換会運営業務」

平成 22 年 4 月 23 日(武蔵境地区)、24 日(吉祥寺、中央地区)の第 3 回意見交換会を実施。

◎武蔵野市第五期基本構想・長期構想策定委員会による関係団体市民会議に参加。

平成 23 年 2 月 19 日(土)緑・環境・市民生活分野、都市基盤、財政部門のヒアリングに参加し意見(担当:清本、南、篠原)

◎定例会

平成 22 年年 11 月 9 日(火) 第 1 回定例会(商工会館)実施。

◎役員会

平成 22 年 6 月 18 日(金)	第 1 回役員会(西久保コミセン)
8 月 25 日(水)	第 2 回役員会(商工会館)
12 月 16 日(木)	第 3 回役員会(商工会館)
平成 23 年 2 月 27 日(木)	第 4 回役員会(商工会館)

重要事項:

- ◎当会議の役員であり、当会が実施したシンポジウムやイベント等のポスターやチラシにおいて独特のデザインを行い、当会の活動と発展を支えた宗正隆氏が平成 22 年 11 月 7 日になくなった。同氏のこれまでの当会議への貢献と市民活動に対し、さらに良き友人として、役員一同、ここに深く感謝と哀悼の意を表す。告別式には清本顧問に参列いただいた。

以 上

別紙 1 - 2 (平成 23 年度収支計算書)

平成22年度収支計算書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

	収入	支出
会費・入会金		
入会金	3,000	
会費	56,000	
事業		
(1)まちづくり事業		
都市マス意見交換会	489,300	149,125
(2)調査研究事業		
地区別意見交換会報告会		7,755
コミセン協議会との勉強会		24,336
まちづくり視察		17,200
(3)教育事業		
都市マス市民の集い		33,920
バス研修	84,000	76,025
(4)普及啓発事業		
ニュースの発行		64,820
まちづくり提案書の発行		131,980
コミセン協議会との連携報告書の発行		15,884
ホームページの運用		32,350
学会誌への投稿	10,000	
(5)交流事業		
NPO市民ネットワークへの参加		2,000
むさしのくらしフェスタへの参加		0
その他収入		
寄付	5,673	
利息	207	
事務管理費		
消耗品費		210,160
通信費		1,900
租税公課		200
合計	648,180	767,655

収支差額 ▲ 119,475

期首繰入(前期末残高) 726,609

期末繰越(当期末残高) 607,134

別紙1-3 (会計監査報告)

「特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの」の平成22年度の会計処理について、会計原則に基づいて精査しましたところ、全てが適正に処理されていることを確認しました。

平成23年5月16日

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの 監事 勝倉 啓仁



同 上

監事 石川 知穂



別紙2（主たる事務所の移転及び定款の変更）

平成23年6月11日付けで、当会の主たる事務所を「東京都武蔵野市緑町2丁目4番4-520号」に移転する。これにあわせて、該当する定款の条文（第2条）を以下のとおり変更する。

新	第2条 この法人は、主たる事務所を東京都武蔵野市緑町2丁目4番4-520号に置く。
旧	第2条 この法人は、主たる事務所を東京都武蔵野市吉祥寺東町1丁目4番16号に置く。

別紙3-1(平成23年度事業計画)

1. まちづくり事業

1) 地区計画等のまちづくりの構想や計画の策定

(1) 武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策検討及び実施(新規)

- 事業内容: 初年度は、都市計画マスタープランの実施状況に関するモニタリングを市民側の主導により実施することを目標に年度内数回の勉強会、地区計画地域や公共施設、民間施設等のウォッチングを実施し、モニタリングの具体的な考え方、タイミング、対象、手段、指標、評価方法、公表方法などをまとめる。成果は広く市民や市、関連組織、コミュニティ協議会・町会などに報告する。実際に、疑似的にモニタリングを実施できるようにすることが課題である。モニタリングには、自ずと、地区計画やまちづくり計画の策定・実施状況、まちづくり委員会の活動状況と評価なども含まれる。その後の実施(来年度以降)にあたっては、学識経験者や市内有識者、商工者、立地企業、NPO 団体、関連任意団体、市職員等にも参加してもらい、市民が主導する都市計画マスタープラン・市民評価委員会や関連フォーラム等を開催し、計画実施の評価と課題提示を行うことを目標とする。
この勉強会の開催にあたっては、広く会員にも参加者を求め、主要な役割を担ってもら(担当: 篠原、高田、地区カルテ部会: 村井他)。

2) まちの利便、景観、環境、安全等の保全や向上に資する実践活動

(2) コミュニティ支援事業(継続)

- 事業内容: 境1及び3丁目、境南町1丁目コミュニティ拠点づくり活動の見守りと具体的な要請があった場合の協力(担当: 清本)。
- 事業内容: 八幡町コミュニティセンター新設に伴う検討コミセン業務の見守りと必要な場合の支援(担当: 山田)。
- その他、コミュニティ、市民からの要請があれば対応する。

(3) 「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への副司会者の派遣(継続)

- 事業内容: 話し合いの会メンバーから会の打ち切り動議等も出ていることから、今後の継続の如何は不確定であるが、市民側から協力要請がある限り支援を継続。状況に応じて、道路計画等に関する助言等も行う(担当: 村井、森、南、篠原)。

(4) 「三鷹駅北口地区まちづくり準備会」の推進(新規)

- 事業内容: 出前講座という位置づけではなく、今年度から、まちづくり活動の実践と位置づけ、当会議の事業として位置づける(高田)。

(5) むさしの減災まちづくり調査研究(新規)

- 事業内容: 東日本大震災3.11の教訓を活かした新たなむさしの減災まちづくりのあり方を研究する(市補助金を活用)。詳細は添付の企画書を参照。これについても広く会員からも参加者を募る(担当: 山田、森、清本、井部他)。

2. まちづくりに関する調査研究事業

1) まちの現状や計画、まちづくり制度に関する情報収集及び研究

(4) 景観・観光をテーマにしたまちづくりの検討ー地区カルテ部会（継続）

- 事業内容： 引き続いて景観・観光をテーマにしたまちづくりの検討を継続し、市に対する景観条例策定に向けた勉強会等を提案する。優れた景観条例等を有する他市や学識経験者、専門家、NPO 等を訪ねたり、招いたりして勉強会を開催する(担当: 南、村井、高田)。
- その他、コミュニティ、市民からの要請があれば対応する。

(5) 商業地活性化部会・UD 部会合同（継続）

- 事業内容： イースト吉祥寺デザインガイドラインを活用することだけではなく、イースト地区の再生につながる課題について、協議会等の要請に応じて活動を行う(担当: 山田、河田)。
- その他、コミュニティ、市民からの要請があれば対応する。

2) まちづくりへの市民参画に関する情報収集及び研究

(6) まちづくり支援活動勉強会の開催（継続）

- 事業内容： 引き続いてコミュニティ協議会等とは、各地区担当を中心に連携の深化を行う。協力要請があった場合には、まちづくり会議として対応する。「武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策検討及び実施」事業や「むさしの減災まちづくり調査研究」などの機会を通じて、コミュニティ協議会とは広く連携を模索する(担当: 篠原他各地区担当者)

3. まちづくりに関する教育事業

1) まちづくりに関する講習会、シンポジウム等の開催

(7) 都市マスタープランのモニタリング勉強会（新規）

- 事業内容： 「武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策検討及び実施」事業を活用し、勉強会を開催する(担当: 篠原、高田、地区カルテ部会: 村井他)。
- 事業内容： 「むさしの減災まちづくり調査研究」事業を活用し、勉強会や研究会等を開催する(担当: 山田、森、清本、井部他)。

2) まちづくりに関する講師派遣

(8) まちづくり出前講座の実施（継続）

- 事業内容： 中央北地区意見交換会のフォローアップ(担当: 村井)。
- その他、コミュニティ、市民からの要請があれば対応する。

3) まちづくりに関する研修

(9) 日帰りバス研修

- 事業内容： バス研修を計画・実施(担当:南)。山梨県甲州市勝沼地域を視察し、地域に残る歴史遺産の保全と活用方法を学ぶ。詳細は添付資料を参照。

4. まちづくりに関する普及啓発事業

1) 機関紙、研究報告書、啓発書の発行

(10) 機関誌「まち」の継続発行

- 事業内容： 機関誌「まち」を年度内4回ほど発行する(担当:南、石川)。

(11) 報告書の発行

- 事業内容：
「武蔵野市都市計画マスタープラン推進状況のモニタリング方策検討及び実施」事業及び「むさしの減災まちづくり調査研究」事業の報告書を発行する。
- その他事業についても、必要に応じて報告書を発行する。

2) ホームページの開設・運営

(12) ホームページのリニューアル

- 事業内容： 引き続き当会議のホームページの更新、維持、管理を推進し、会員や市民に対する情報提供ツールとして位置づける。(担当: 山田、森、石川、内門)。

5. まちづくり又はその研究や普及啓発を目的とする団体との情報交換及びネットワークの構築事業

(13) 武蔵野NPO・市民活動ネットワークへの参画 (継続)

- 事業内容： 団体登録を継続。武蔵野NPO・ネットに役員を派遣し先方事業推進を支援する(担当: 清本、篠原)。

(14) 暮らしフェスタむさしの2010への参加 (継続)

- 事業内容： 消費者生活団体登録を継続。今年度は、むさしの減災まちづくり調査研究の成果を活用し、被災時の生活の確保等の課題を提示する(担当: 井部、山田)

(15) 男女共同参画のまちづくりの検討 (継続)

- 事業内容： 男女共同参画推進団体登録の継続及び協働事業の実現(担当: 中川、篠原)。

6. その他目的を達成するために必要な事業

- 事業内容： 事務機能の強化(当会議専用PCやサーバーを活用し、これまでの活動記録や成果をデータベースとして活用できるようにする。当会議の定款や登記、活動案内、ポスターやチラシ、実務的書類(レターヘッド、名刺、領収書、請求書など)を整理し、いつでも利用できるようにする(担当: 森、石川、内門)。
- 事業内容： 出納の仕組みを整備するとともに、当会議の今後の活動範囲の拡大を念頭に、適切な会計ルールの作成と運用を行う(井部、中川、内門、森)。
- 事業内容： 事業の集中があったものの、昨年度において定例会が1度しか実施できなかったことを反省し、より一層会員が事業に参加できるようにするとともに、年度内に定例会を5回実施する。誰もが予定しやすいように、予め日程を7月8日、9月9日、11月11日、平成24年1月11日、3月9日に実施するものとする。

以上

別紙3-2(平成23年度予算)

収入			
昨年度繰越		¥607,134	
1会費・入会金収入			
	入会金収入	¥6,000	昨年度実績より、2名入会と想定
	会費収入	¥62,000	昨年度実績(2名増員、2名欠員)より増員無しとして31名分
2事業収入			
1	まちづくり事業		
2	まちづくりに関する調査研究事業	¥72,000	バス研修参加者負担
3	まちづくりに関する教育事業		
4	まちづくりに関する普及啓発事業		
5	まちづくりに関連する団体との交流等事業		
3補助金等収入(まちづくり事業)		¥200,000	むさしの減災まちづくり調査研究
4寄付金収入		¥100,000	昨年度実績+外環
収入合計		¥1,047,134	
支出			
1事業費			
1	まちづくり事業		
	都市マスタープラン推進状況モニタリング方策検討及び実施		
	勉強会参加交通費500円/人	¥50,000	
	有識者等謝礼	¥40,000	
	報告書印刷費	¥55,000	
	資料作成費	¥3,000	
	コミュニティ支援事業	¥15,000	情報収集、資料収集、資料作成費等
	三鷹駅北口地区まちづくり準備会	¥40,000	情報収集、資料収集、資料作成費等
	むさしの減災まちづくり調査研究(補助金差額弱)	¥100,000	情報収集、資料収集、資料作成費等
2	まちづくりに関する調査研究事業		
	景観・観光(地区カルテ部会)	¥40,000	訪問先謝礼
	商業活性化部会・UD部会	¥15,000	情報収集、資料収集、資料作成費等
	まちづくり支援活動勉強会	¥15,000	情報収集、資料収集、資料作成費等
3	まちづくりに関する教育事業		
	都市マスタープラン改定素案・意見交換会	¥0	まちづくり事業に含む
	中央北地区意見交換会のフォローアップ	¥10,000	情報収集、資料収集、資料作成費等
	バス視察		
	企画経費	¥10,000	情報収集、資料収集、資料作成費等
	開催実費	¥67,400	参加者負担と補助でカバーできる見込み
4	まちづくりに関する普及啓発事業		
	原稿料	¥4,000	ゲスト執筆者に対し1回¥1,000、4人を想定
	編集経費	¥20,000	1号発行あたり¥5,000
	ニュース発行	¥6,000	年4号発行を想定
	ホームページの更新・維持管理	¥80,000	更新費用
5	まちづくりに関連する団体との交流等事業		
	武蔵野NPO・市民活動ネットワーク参加、フェスタ準備費用	¥25,000	会費及び交通費等
6	その他事業		
	予備費	¥10,000	
2管理費			
	事務局運営費	¥30,000	事務局職員への経費支払い
3予備費			
	入会金予備費	¥4,000	昨年度実績より、2人新規加入を想定
支出合計		¥639,400	
収支差額(次期繰越金)		¥407,734	

参考:平成 23 年度会員名簿

1	代 表	篠原 二三夫	理事長
2	副代表	河田 弘昭	
3	〃	高田 典夫	
4	〃	南 賢二	
5	〃	村井 寿夫	
6	〃		
	兼事務局長	森 浩	理事
7	副代表	山田 朗	理事
8	会 計	井部 文哉	
9	〃	中川 瑛子	
10	監 事	石川 知穂	監事
11	〃	勝倉 啓仁	監事
12	会 員	塩澤 誠一郎	
13	事務局	内門 秋弘	
14	顧 問	清本 和子	理事
15	会 員	内山 さと子	
16	〃	加藤 厚子	
17	〃	高田 昭彦	
18	〃	田辺 軌夫	
19	〃	手塚 一郎	
20	〃	川名 ゆうじ	
21	〃	砂川 直美	
22	〃	中島 敏	
23	〃	西村 まり	
24	〃	原 利子	
25	〃	東 貴雄	
26	〃	深田 貴美子	
27	〃	古沢 圭一	
28	〃	宮川 聡	
29	〃	○ きくち 太郎	
30	〃	○ 中村 郁博	
31	〃	○ 竹山 悠紀子	

○は 22 年度新規入会者

